

2023 年度 事業計画書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

I	2023 年度事業計画 事業の体系図	・ ・ ・ ・ ・	1
II	2023 年度事業計画一覧	・ ・ ・ ・ ・	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団



2023年度事業計画一覧

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
公1 絵本美術館の設置運営				
ア 絵本等に関する展覧会、講演会、ギャラリートーク等の開催				
■ちひろ美術館・東京での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろ 光の彩(いろどり)	ちひろは、水彩絵の具の濃淡やにじみ、余白、色のイメージなどを駆使し、形のない光を巧みに描き出した。本展では、四季の陽光が感じられる作品や、人物のシルエットが浮かび上がる作品、光のなかに少女の心の機微を表した至光社の絵本などを展示し、技法にも着目しながら、ちひろの光の表現を紹介する。	3月18日～6月18日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ 子ども百景	ちひろは、生涯一貫したテーマとして「子ども」を描いた。あかちゃんの月齢を描き分けた画力と母親としての深い愛情が、あらゆる子どもの姿や心理をとらえた作品を生み出した。本展では、初期のスケッチから中期の絵雑誌、後期の代表作にいたるまで、ちひろが描いた子どもの情景の変遷をたどる。あわせて、『私は赤ちゃん』など松田道雄との育児書の仕事に注目する。	6月24日～10月1日	ちひろ美術館・東京
	いわさきちひろ やさしさと美しさ	ちひろは、「私は私の絵本のなかで、いまの日本から失われたいろいろなやさしさや、美しさを描こうと思っています。」と語っている。本展では、やさしさや美しさを感じられる作品や絵本を展示し、ちひろにとって、作品や絵本を知る上でのキーワードでもある「やさしさや、美しさ」について考える。	10月7日～2024年1月14日	ちひろ美術館・東京
【企画展示】	没後50年 初山滋展 見果てぬ夢	大正時代の童画の萌芽期から活躍し、第二次世界大戦後も後続の画家たちに多大な影響を与えた初山滋(1897～1973)。日本の伝統美も西欧の新しい美術も取り入れながら、童画や木版画に、自由自在に独自の表現を展開した。没後50年を経た今も新鮮さを失わない初山滋の世界を紹介する。	3月18日～6月18日	ちひろ美術館・東京
	谷内こうた展 風のゆくえ	谷内こうた(1947-2019)は、叔父谷内六郎のすすめで絵本を描きはじめ、『なつのあき』が日本人として初めてポローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞、早くから国内外で注目を集めた。本展では、絵本原画とともに、雑誌の表紙絵や油彩画も展示し、谷内こうたの画業を紹介する。	6月24日～10月1日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ美術館セレクション 2010→2021 日本の絵本展	2011年の東日本大震災や2019年末からつづく新型コロナウイルス感染症の流行に加え、経済格差の拡大やスマートフォンの普及など、子どもを取りまく環境が大きく変化した2010年代。絵本の世界でも、2000年代より一層世代交代が進み、新しい世代のつくり手たちのめざましい活動がみられた。2010年以後から2021年までに出版された、時代を象徴する絵本や作家を紹介する。	10月7日～2024年1月14日	ちひろ美術館・東京
【講演会】	「初山滋」展関連講演会	没後50年を迎える初山滋の研究者で、『初山滋 永遠のモダニスト』の著者でもある竹迫祐子の講演会を開催する。	3月26日	ちひろ美術館・東京(オンライン)
	「谷内こうた展 風のゆくえ」関連 鼎談	谷内こうたを知り、愛する3人の女性編集者によるトークを開催する。(含むオンラインでの開催)	展示会期中	ちひろ美術館・東京
	「2010→2021 日本の絵本展」関連 アーティストトーク	「2010→2021 日本の絵本展」に出展する画家が、自作や2010年代について語る。(含むオンラインでの開催)	展示会期中	ちひろ美術館・東京
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろのひとり息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。(含むオンラインでの開催)	随時	ちひろ美術館・東京
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。(含むオンラインでの開催)	随時	ちひろ美術館・東京
■安曇野ちひろ美術館での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろの願い 世界中のこどもみんなに 平和と しあわせを	ちひろは、青春時代を戦時下で過ごし、戦後は画家として、平和への願いを絵筆に託して描き続けた。本展では、ちひろの歩みをたどりながら、初期の素描から晩年の代表作、戦争をテーマにした3冊の絵本『わたしがちいさかったときに』『母さんはおるす』『戦火のなかの子どもたち』を展示し、ちひろの平和への願いを伝えていく。	3月1日～5月28日	安曇野ちひろ美術館
	1950-1970年代の絵本 絵本画家いわさきちひろ	ちひろは、「こどものとも」の1作として出版された『ひとりのできるよ』から始まり、童心社の「若い人の絵本」シリーズ、『あめのひのおるすばん』にはじまる至光社の絵本シリーズなど、数々の絵本を手がけた。本展では、資料や編集者のことばとともにちひろの絵本の仕事を紹介する。子どもの本が隆盛期を迎え、多様に発展していった1950年代から1970年代の時代背景と、ちひろの絵本画家としての画業をたどる。	6月3日～9月3日	安曇野ちひろ美術館
	いわさきちひろと師・中谷 泰	第二次世界大戦中から戦後にかけてちひろが師事し、彼女が画家として立つ決意を固める過程を見守った画家が中谷泰であった。ちひろが亡くなるまでふたりの交流は続いた。本展では、2022年に三重県立美術館で開催した「いわさきちひろ展 中谷泰を師として」で深められた研究を踏まえ、ふたりの画家、それぞれの造形的探究とともに、響きあうあたたかなまなざしを紹介する。	9月9日～11月30日	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
【いわさきちひろ展】	ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像等により、ちひろの絵と人生、その人柄を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
	子どもの展示室「トットちゃんの部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部再現や、ちひろの絵で楽しむトットちゃんの物語、トモエ学園の紹介など、トットちゃんの世界を子どもたちの目線で楽しむことのできる展示を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクション なんて世界は素晴らしいのだろう	人は、どのようなときに世界は素晴らしい、と感じるのだろうか。国や言葉は異なっても、同じ人間として、共通したものがあるため、遠い国や知らない国の画家が描いた絵に心が動くことがある。本展では、当館のコレクションのなかから、素晴らしい世界を描いた絵本や作品を紹介する。	3月1日～5月28日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 東南アジアと中南米の絵本	日・ベトナム外交関係樹立50周年である2023年。ベトナムのタ・ヒー・ロンの絵本『姫君と望遠鏡』を中心として、ちひろ美術館コレクションより、赤道に近い東南アジアと中南米の国々6カ国の画家のイラストレーションを展示する。豊かな自然や地域の独特な暮らしのなかで描かれた、ユニークな作品を紹介する。	6月3日～9月3日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 冒険する子どもたち	冒険を描いた物語には、さまざまな困難に立ち向かい、行く手を阻まれても勇気を持って進んでいく子どもたちが登場する。本展では、インノチェンティの『ピノキオのぼうけん』やディオドロフの『ニルスのおしげな旅』など、ちひろ美術館コレクションのなかから、冒険する子どもたちをテーマに作品を展示する。	9月9日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
【絵本の歴史展示】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分けて紹介すると同時に、第二次世界大戦中の子どものための絵雑誌も展示する。	通年(会期ごとに入れ替え)	安曇野ちひろ美術館
【企画展示】	ちひろ美術館セレクション 2010→2021 日本の絵本展	2011年の東日本大震災や2019年末からつづく新型コロナウイルス感染症の流行に加え、経済格差の拡大やスマートフォンの普及など、子どもを取りまく環境が大きく変化した2010年代。絵本の世界でも、2000年代より一層世代交代が進み、新しい世代のつくり手たちのめざましい活動がみられた。2010年以後から2021年までに出版された、時代を象徴する絵本や作家を紹介する。	6月3日～9月3日	安曇野ちひろ美術館
	没後50年 初山滋展 見果てぬ夢	大正時代の童画の萌芽期から活躍し、第二次世界大戦後も後続の画家たちに多大な影響を与えた初山滋(1897～1973)。日本の伝統美も西欧の新しい美術も取り入れながら、童画や木版画に、自由自在に独自の表現を展開した。没後50年を経た今も新鮮さを失わない初山滋の世界を紹介する。	9月9日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
【講演会】	「初山滋」展関連講演会	没後50年を迎える初山滋の研究者で、『初山滋 永遠のモダニスト』の著者でもある竹迫祐子の講演会を開催する。	展示会期中	安曇野ちひろ美術館
	「2010→2021 日本の絵本展」関連 アーティストトーク	「2010→2021 日本の絵本展」に出展する画家が、自作や2010年代について語る。(含むオンラインでの開催)	展示会期中	安曇野ちひろ美術館
【ギャラリートーク】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころを、展示担当者や普及担当者が解説する。(含むオンラインでの開催)	随時	安曇野ちひろ美術館
■他館と提携する展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【展覧会】	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展を、開催希望自治体、団体、施設と協力して行う。	通年	「ちひろの生まれた家」記念館(福井県越前市)
			4月29日～6月11日	仙台文学館
			4月1日～7月18日	黒姫童話館
	ピエゾグラフ作品による赤羽末吉展	ピエゾグラフ作品による赤羽末吉展を、開催希望自治体、団体、施設と協力して行う。	7月22日～9月3日	西田美術館
			7月22日～8月22日	豊岡市立日本・モンゴル民族博物館
他館での展覧会への作品の出展	他館からの求めに応じて、他館での展覧会へ当館所蔵作品を出展する。	9月9日～11月7日	北海道文学館	
【ギャラリートーク】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。(含むオンラインでの開催)	随時	

イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
----------	---------------	------------------------------------------	----	----

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
作品・資料の収集	絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持つ、魅力的な絵本の収集を進める。コレクション画家の手がけた絵本資料の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品整理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブス	いわさきちひろと世界の絵本画家の作品・資料のデジタル・アーカイブスを、災害時対応にも備えつつ、進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	両館で開催する展示、ならびに他館と提携して行う展覧会において、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。特に初山滋、司修、中谷泰、2010年代の絵本画家等の作品について展覧会とあわせて調査を進める。2024年のいわさきちひろの没後50年にむけ、これまでの研究成果を「いわさきちひろ資料総目録(仮称)」にまとめるための準備を行う。	通年	両館
	作品・資料等のアーカイブス	DBシステムに登録した作品(原画とピエゾグラフ)、図書、遺品などのさらなるデータ整備を進め、展示やさまざまな企画等の充実と合理化を進める。いわさきちひろに関する調査資料、機関アーカイブスの整理とデジタル化を進め、望ましい管理システムについても引き続き調査する。	通年	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	絵本とイラストレーションの歴史に関する資料の整理、調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について、外部の研究者とも連携しながら調査・研究を進める。	通年	両館
	研究成果の公開 公式サイトでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、公式サイトで公開し、国内外にむけて発信していく。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(展示会期ごと)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、展覧会にあわせて発行する「美術館だより」や公式サイトを通じて、公開していく。	通年	両館

ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	ちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する(講師:服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)。	各展示会会期中1回(年3回)	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんのための鑑賞会	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、あかちゃんのための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。(含むオンラインでの開催)	冬	ちひろ美術館・東京
	子どものための鑑賞会	3歳児～小学1年生とその保護者を対象にした、幼児～児童のための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。(含むオンラインでの開催)	冬	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんと保護者のための鑑賞会	「あかちゃんとおでかけしよう!」と題して、乳幼児とその保護者を対象に、子どもといっしょに美術館を楽しめる、ファーストミュージアムデーを年2回開催し、展示を中心に館内各所での鑑賞会や、絵本の読み聞かせ、ふれあい遊びを行う。	年2回	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』ワークショップ	安曇野ちひろ公園トットちゃん広場と安曇野ちひろ美術館館内において、『窓ぎわのトットちゃん』のさまざまなエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の人々や地元の学校の協力を得て、開催する。	随時	安曇野ちひろ公園・安曇野ちひろ美術館
	「2010→2021 日本の絵本展」関連 ワークショップ	「2010→2021 日本の絵本展」に出展する画家を講師に招き、ワークショップを開催する。	展示会期中	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ忌	ちひろが亡くなった8月8日にあわせてギャラリートーク等を行い、ちひろの業績や人生を伝えるとともに、世界中の子どものしあわせと平和を願ったちひろの思いを、来館者とともに考える機会とする。(含むオンラインでの開催)	8月8日	両館
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	キャリア教育の一環として、松川中学校と連携し、中学生ボランティアを育成し、来館者を対象にした、当館での体験ワークショップ等の活動を行う。(含むオンラインでの開催)	夏休み期間中	安曇野ちひろ美術館
	出前授業、出前講座	ちひろの画業や絵の魅力を伝え、その技法を体験するワークショップを含めた出前授業、出前講座を、学校等に出向いて実施する。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	学校団体への各種教育プログラム	授業で来館する学校に対し、開催中の展覧会の鑑賞教育をはじめ、各種教育プログラムを行う。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
学校との提携活動	スクールミュージアム	キャリア教育の一環として、長野県内の希望校を対象に、複製画等の貸し出しを行い、生徒キュレーターとして生徒の力で展覧会が開催できるよう展覧会のつくり方を指導する。	随時	安曇野ちひろ美術館
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習・インターンの受入	練馬区近辺、松川村近辺の中学・高等学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務の体験を提供して博学連携の活動とする。	随時	両館

エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション画家・企画展画家・その他の世界の絵本画家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、公式サイト等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしの中で身近に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
読み聞かせ会	絵本のじかん(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等などの団体鑑賞の希望に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展等の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
	施設・団体・学校との提携による、平和のパネル展の開催	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの開催	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設ける。求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。(含むオンラインでの開催)	随時	東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター内医療型短期入所施設「もみじの家」、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ	海外における、ちひろや日本の絵本展ならびに教育普及活動の新しい展開	コロナ禍の渡航制限により自粛せざるを得なかった国際交流活動を再開するため、ちひろや日本の絵本展の開催、ならびに教育普及活動などを新しく提案する。(含むオンラインでの実施)	随時	両館
海外からの研修受入と交流	海外の絵本関係者の研修・交流	海外の絵本画家や編集者など絵本関係者を対象に、求めに応じて絵本に関する研修を受け入れる。あわせて地元の子どもたちとの交流を行い、相互理解と、絵本文化の普及・発展を促進する。(含むオンラインでの実施)	随時	両館
	コレクション画家たちとの交流	ちひろの没後50年、そして当館の開館50周年に向け、海外のコレクション画家たちとの積極的な交流を通じて、絵本文化の普及と発展を促進する。(含むオンラインでの実施)	随時	両館
	館の多言語情報のより多面的な発信とコンテンツの充実	さまざまな国や言語の来館者に対応すべく、館や展示の紹介等を、動画、印刷物、公式サイトなどさまざま媒体を通して、魅力的効果的に発信していく。特に公式サイトにおいては、ちひろだけでなく当館のコレクション紹介の英文ページを充実させ、その魅力を世界に発信する。	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	絵本や子どもの本の専門機関との提携活動	絵本や子どもの本の国際的専門機関であるIBBY(International Board on Books for Young People)とその日本支部のJBBY、シンガポールのAFCC(Asian Festival of Children's Content)、インドネシアのTacita(Pesta Cerita Anak, Indonesian Children's Story Festival)、スロヴァキアのBIB(Biennale of Illustrations, Bratislava)等、ならびに日本国内の絵本学会、絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、絵本文化発展のための交流、相互協力に努める。	随時	両館
	絵本美術館との連携強化	国を超えた絵本美術館ネットワークづくりのため、アメリカのエリック・カール美術館をはじめとする海外の絵本美術館や絵本図書館等と、絵本を通じた交流を推進する。	随時	両館

カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かして研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ等への支援	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に、求めに応じて、絵本の紹介や、読み聞かせの方法等についてアドバイスを行う等、支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
	展覧会鑑賞のバリアフリー化	東京・安曇野ともに、日本語を母語としない方や、視覚・聴覚障害をお持ちの方を対象に、スマートフォンからの音声や文字情報による解説を多言語で提供し、利用者のニーズに応じていく。また、両館ともに、障害者手帳提示の方と介添え1名までの入館料を無料とするなど、様々なニーズを持つ来館者の展覧会鑑賞を支援するためのバリアフリー化を進める。	随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の子育て支援団体や保護者らのグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館

収1

その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館
-------------------------	---------------	------------------------------------------	----	----